志布志麓庭園　天水氏庭園　平山氏庭園　福山氏庭園

【所　　在　　地】志布志市志布志町帖字松原，高濱
【種　　　　別】国指定名勝
【指定年月日】平成１９年７月２６日

島津藩主は領内の約１１０か所に「麓」と呼ばれる武士団の集住地を設けたが，そのうちの一つである「志布志麓」は，隣藩との境界に位置する海陸交通の要衝として藩内でも有数の規模を誇った。志布志麓には，近世の武家屋敷や寺院に起源し，さらに近代以降に手を加えられつつ継承された多くの住宅庭園が残されている。特に，天水氏庭園・平山氏庭園・福山氏庭園は独特の風趣を伝え，意匠又は構造面において志布志麓庭園の特徴となる立地及び造形をよく遺す代表的な事例である。

天水氏庭園は，変化に富んだ岩盤地形を活かしつつ，導入部から主屋及び庭園へと至る視覚的な連続性を調和よく構成するところに特質が見られる。

平山氏庭園は大規模な岩盤の露頭を数段に削り取って造られた庭園で，荒々しい様相と立体感に満ちた独特の意匠・構造を持つ。

また，福山氏庭園は最上級家臣の武家屋敷の庭園で，空間の配置・構造がほぼ完全な形で残されており，鑑賞の対象とされたのみならず，武芸の鍛錬場としても使われたところに特質がある。

これらの一群の住宅庭園は，志布志麓庭園の芸術上・鑑賞上の高い価値を表している。

天水氏庭園

平山氏庭園

福山氏庭園